

学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



東門のツバキ

☆☆☆ 今年もどうぞよろしくお祈りします ☆☆☆

後期の後半がスタートしました。冬休み中は大きな事故もなく、子供たちの明るい笑顔が学校に戻りました。当たり前前の学校生活を当たり前前に送ることができることに、何よりの幸せを感じます。

さて、8日(火)の集会では、12月に行った「学校生活アンケート」について、みんなで考えました。結果の良かった項目は、「行事への積極的参加」「安全な登下校と生活」「地域の行事参加」でした。逆に低い項目は、「家庭学習4か条」「意見の伝え合いや教え合い」「読書や学習の楽しさ」でした。子供たちの良さががんばりをさらに伸ばし、改善すべきことを少しでも意識して直していくことが大切です。全校生で、「生き生き学び笑顔あふれる学校」を目指していこうと話しました。その笑顔や学びが地域にも広がっていくことを願っています。6年生はあと2か月足らずでこの学舎を巣立っていきます。在校生もそれぞれの学年の学校生活を修了することとなります。子供たち一人一人にとって充実した毎日となるよう、職員一同、更に協働して取り組んで参りたいと思います。



テレビ、ゲーム、パソコンの使用時間 長すぎ？

朝の挨拶で気になっているのは、寝不足で元気がない児童がいること。また、時々ゲームに関するトラブルも起きています。(課金、夜遅くの通信など)そこで、12/25(火)全校集会で「ゲーム依存症」や「ゲーム脳」の恐ろしさについて話しました。



＜ゲーム依存症の症状は？＞

- すべてがゲーム優先(夜中までゲーム) ・ゲームをやり続ける→すぐ怒る、嘘をつく
- 視力低下、失明、頭痛←強い光
- 運動不足→腰痛、肥満
- 寝不足→成長の遅れ、コミュニケーション苦手

＜ゲーム依存症にならないためには？＞

- 時間を決める(記録で見える化、守れなかったときの罰)
- ゲームをやる場所…みんながいる場所 ・熱中できるものを見つける
- ルールを守る(10分前アラーム、できたらごほうび)



子供たちは、明るく素直で、毎日元気に学校生活を送っています。しかし、家庭での生活の乱れは、学校での生活や学習に影響が出ます。全国、とちぎっ子学習状況調査によると、「ゲームやパソコンを長時間使用するほど、平均正答率は低い」という結果が出ています。アメリカの睡眠財団の報告では、学童期に必要な睡眠時間は、10～11時間だそうです。睡眠により成長ホルモンが出て、心身の発達につながるそうです。また、視力の低下も心配です。体・心づくりは、御家庭の御協力が欠かせません。生活のリズムを整えるためにも、子供のうちから「早寝早起きしっかり朝ごはん」の習慣を身に付けると、大人になってからも健康で生き生きと活躍できるようになることと思います。

◎「学校行事に積極的参加」 ～学校評価アンケートの結果より～

年末のお忙しい中、教育活動の改善のための学校評価アンケートの御回答、誠にありがとうございました。集計がまとまりましたのでお知らせいたします。今後、保護者、児童、教職員のアンケートの結果を踏まえて、より一層良い学校を目指して改善していきます。今年から、南河内中学区4校で、同じ評価項目に統一しました。

表の見方は、質問内容に対して、保護者からの回答を、「㉞そうである ㉟まあまあそうである ㊱あまりそうでない ㊲そうでない」を百分率(%)で表しました。

また、保護者・教職員・児童の回答を、㉞は4点、㉟は3点、㊱は2点、

㊲は1点とし、その平均点を数値化して、保護者の平均点の高い順に並び替えました。なお平均点は、A(3.5以上) B(3.0~3.4) C(2.9以下)

の3区分することによって、全体の傾向が見えてくるのではないかと考えています。

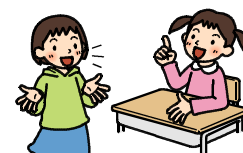


	質 問 内 容	㉞	㉟	㊱	㊲	保	教	児
児 童	①子供は運動会などの行事に積極的に参加している。	85	14	1	0	3.8	3.7	3.7
	②子供はルールを守って登下校し、安全な生活を心がけている。	68	29	4	0	3.6	3.3	3.7
	③子供は学校が楽しく、安心して過ごしている。	57	37	5	1	3.5	3.4	3.5
	④子供は自分や友達を大切に、意地悪せずに思いやりある行動がとれる。	52	44	4	0	3.5	3.1	3.4
	⑤子供は給食をおいしく、好き嫌いなく食べている。	62	31	7	0	3.5	3.5	3.3
	⑥子供は地域の人に学び、行事に参加して、ふるさと学習を楽しんでいる。	55	38	7	0	3.5	3.5	3.5
	⑦子供は授業が分かりやすいようだ。	48	45	7	0	3.4	3.2	3.5
	⑧子供は清掃や奉仕活動に取り組み、みんなのためになることをしているようだ。	45	45	10	0	3.4	3.1	3.3
	⑨子供は体育や休み時間に、進んで運動しているようだ。	55	31	13	1	3.4	3.5	3.4
	⑩子供は将来の夢ややりたい職業がある。	52	31	17	0	3.4	3.1	3.4
	⑪子供は善悪の判断をし、実行することができる。	39	55	6	0	3.3	3.1	3.4
	⑫子供は意見の違う友達とも仲良く助け合うことができる。	40	49	11	0	3.3	3.4	3.4
	⑬子供は生活の決まり(挨拶・時間・提出物)をきちんと守っている。	37	43	19	1	3.2	2.8	3.3
	⑭子供は衛生に気を付け、清潔な生活を心がけている。	30	58	12	0	3.2	3.0	3.4
	⑮子供は学習することは楽しいようだ。	35	44	20	1	3.1	3.3	3.2
	⑯子供は授業中は進んで意見を伝えたり教え合ったりできるようだ。	31	46	23	0	3.1	3.2	3.1
	⑰子供は読書が好きで、学校や家で本を読んでいる。	26	37	32	5	2.8	3.3	3.2
学 校	⑱学校で先生は子供の相談にのってくれる。	58	38	2	1	3.5	3.7	3.5
	⑲学校は9年間を見据えて小中一貫した教育を推し進めている。	29	57	12	1	3.1	3.3	
家 庭	⑳家族と学校の話をしている。	70	18	11	1	3.6	3.1	3.3
	㉑子供は家庭学習の決まりを守り、毎日学習している。	20	44	35	1	2.8	3.3	3.0

《考 察》

(ア) 全体的にはプラス(A、B)の評価をしている項目が多数を占めている。

(イ) ①行事に積極的参加 ②安全な登下校、生活 ⑳家族とよく話す
などが高得点なのは、児童の行動や生活が落ち着き、学校が楽しい
ことにつながっていると思われる。



(ウ) 保護者と教職員の平均点は、⑰⑱を除いてほぼ同じであるので、課題等を含めて同
じようにとらえていると考えられる。また、児童の平均点はほとんどの項目で保護
者と教職員を上回っている。

(エ) ⑰読書 ㉑家庭学習4か条については、学校では、家庭学習の習慣化、朝の読書や
家読など力を入れている。家庭での励ましの声掛けや協力をお願いしたい。さらに、
家庭学習のやり方、家読や家読発表会の工夫改善をしていきたい。



12/5
(火) 5年
生が「下野
新聞講座」
を受けまし
た。新聞が

12/15
(土) 下野市
小中学生が、
Pepper
を使ったプロ
グラミング学



できるまでの仕事の内容を聞き、実際に新聞づくりの体験もしました。見出しの付け方や記事の書き方などを学び、これから各教科で新聞をつくる時に生かせそうです。また、新聞づくりの工夫を知ること、今まで以上に興味をもって新聞を読めることを期待します。学校では、5・6年生が「朝日小学生新聞」を学習に活用していま

習の成果をグリムの館で発表しました。本校からは5・6年生の2チームが出場し、工夫したプログラムを分かりやすく発表することができました。5年生は「英語の授業に役立つPepper」、6年生は「商業施設や図書館で役立つPepper」。これからの情報化社会に役立つ論理的思考を高め、他校のプログラムを学ぶ機会となりました。



12/18 (火) 避難訓練を行いました。今回は不審者侵入時に安全に避難することが目標でした。全員が真剣に速やかに避難できました。スクールサポーターの三浦さんから、「いかのおすし」や「タッチ&ゴー」の重要性について話を聞きました。「毎日が訓練である。」「普段から大きな声で挨拶する。それが大声で助けを呼ぶのに役立つ。」など、自分の命を守るために努力することを学びました。

芸術鑑賞教室で学んだこと



・わたしは、げいじゅつかんしょうで、一ばんころにのこったことは、さいしょは、あいてにしていなかったハーティーとなかよく力をあわせて、サミレフだいじんのわるいことをとめたことです。ちからをあわせれば、すごいパワーがうまれんるんだなとしりました。すぐたのしかったです。(1年 SR)

・わたしは、アラビアンナイトを見て、一ばんころにのこったところは、さいごにおかあさんとアミンが出あって、いっしょにだきあったところです。だきあったところは、とてもいいばめんだな、と思いました。(2年 UA)

・ぼくは、アラジンを見てすごいと思ったことは、本物のように人形が動いていたことです。心に残った言葉は、さい後にアラジンが言った「そのねがいは、自分でかなえるから」です。「まほうがなくても、ねがいがかなうように努力がひつようなんだ」とアラジンはきづいて、よかったと思いました。(3年 SK)

・ぼくがアラビアンナイトを見て思ったことは、人形が重そうだということです。それから、人形を動かすのもむずかしそうだと思いました。人形の声を出している人も何時間もやっていて、大変だと思いました。最後にブタールの顔が、すごくリアルですすごいと思いました。(4年 GT)

・私は、アミンがお母さんを助けに行くところが心に残りました。王様が魔法のランプを持っていて、何をされるか分からないのに、お母さんを助けるために戦うところが感動し

ました。アミンは、とてもびんぼうだったのに、魔法のランプを使って王様のようなぜいたくな生活をしたいとたのんだけれど、そんな考えでは幸せになれないと思います。自分でたくさんの人のために働き、家族や友達と仲良くすれば、幸せな暮らしにたどりつくと思います。びんぼうで楽に幸せになろうとせず、自分の力で自分の生活を変えようということを変えたかったんだと思います。学校、家での生活でも楽をせずに努力をして、いろんなことをできるようにになりたいです。(5年 HS)



- ・私は、芸術鑑賞教室に参加して思ったことが3つあります。
 - 1つ目は、人形がまるで生きているようにリアルに動かしていたことです。
 - 2、3人で重い人形を持ち上げたり、走らせたりしていたので、すごいなと思いました。
 - 2つ目は、人形に合った声を出していたことです。例えば、アミンだったら少し高い声、ハーティも高い声、プタールだったら低い声、というようにそれぞれちがう高さの声で話していました。
 - 3つ目は、4・5・6年生が劇の一部に参加したことです。前に出て演技をするのは緊張したけれど、自分で作った魔神を決まったふりつけで動かして、むすび座の皆さんと共演することができて楽しかったです。(6年 IR)



☆☆ 特別支援教育コーナー ☆☆ No7 ～だれにでもやさしい特別支援教育～

学校教育課 白石孝子先生の講話 (H29.11.29) より

特別支援教育は、さまざまな学習場で行われるものです。

通常学級においては、教室環境作り・板書・ノートの使い方・指示の出し方・発問や指名の仕方・子ども同士の関係作り・個に応じた指導や支援などがあります。

特別支援学級においては、児童一人一人に合った学習内容や学習方法・時間割の工夫などがあります。また、通級指導教室においては、週に数時間(1～3時間程度)の個別の学習の場として、児童一人一人に合った学習内容や学習方法が行われます。近隣では、薬師寺小学校に「発達障害に対応した教室」、緑小学校に「ことばの教室」があります。

子どもに何らかのつまずきがあるのではないかと気づいた場合は、早いうちに学校や専門機関に相談し、適切な支援を受けることが望めます。

「私にあった教え方で教えてもらえれば、私にもできるよ。」

「やりたい」「のびたい」と思う子どもたちの気持ちを大切にすること。それが、みんなにやさしい「特別支援教育」です。

☆☆ 受賞おめでとうございます ☆☆

◎JA交通安全ポスターコンクール	銀賞	3年	印南魁流さん	
◎JA書道コンクール	佳作	1年	佐藤礼華さん	
		6年	伊澤 凜さん	
◎国際交流図画コンクール	優秀賞	3年	伊澤りこさん	
◎人権書道コンテスト	優秀賞	3年	小室美陽さん	
	努力賞	6年	田上愛瑠さん	
		5年	上野心音さん	
		4年	関口実来さん	
◎子ども	ファンタジー賞	4年	佐藤初華さん	舘野七愛さん
なんでも発表会	パワフルコンビ賞	3年	印南魁流さん	稲見幸星さん
	プリティガールズ賞	3年	上野夏凜さん	1年 佐藤礼華さん

